

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス・児童発達支援HIKARIE 3rd		
○保護者評価実施期間	2026年1月8日		2026年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	56	(回答者数) 46
○従業者評価実施期間	2025年12月17日		2026年1月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	年齢や実態に応じたグルーピングのため、個々の課題に応じた学習や活動に取り組むことができる。	お子様の実態や成長を指導員間で共有し、その都度グルーピングや活動内容を検討し、実施している。また、活動内容についてもソーシャルスキルトレーニングや運動、制作、手指のトレーニング等、幅広い内容を計画し実施している。友達とのかかわりを重点に置いた活動も、意識的に取り入れている。	学校や家庭と連携し、情報共有に努め、その都度実態や課題に合った支援方法を検討し実施していく。また、指導員のスキルアップとして教材研究や障がい理解を深める研修を日常的に行い、支援に活かしていく。活動内容においては、より良い支援を目指し、内容や形態等、常に検討し、工夫して実践していく。
2	日々の活動内容やお子様の様子をアプリを使うことで、保護者に分かりやすくお伝えすることができる。また、保護者と事業所間での連絡事項や情報共有がスムーズに進めることができる。	日々の活動の様子や写真や動画を、アプリを通してお知らせすることで、保護者の方がより事業所での様子が分かるように工夫している。スケジュールや連絡事項をアプリで管理することで、保護者に確実に周知することを心がけている。	一人ひとりのお子様の課題や保護者のニーズに対しての日頃の様子を、引き続きより詳しくお伝えできるように意識していく。また、保護者から家庭や学校での様子を聞き取ったり、事業所での取り組みを伝えたりすることで、一貫した支援ができるようにしていく。
3	特別支援や小中学校の教員、保育士、心理士、理学療法士と多方面から意見が出るので、幅広い活動内容を実施することができる。	活動の目的を明確にし、活動内容を立てることができている。一人ひとりが専門性を活かし、それぞれの視点で意見を言ったり、活動内容を提案したりすることで、幅広い活動内容を計画、実施している。	他グループの職員とも積極的に交流を図り、活動を参考にしたり、会議でアイデアを出し合ったりしながらより良い支援を目指していく。常に学ぶ姿勢を大事にし、自身の知識やスキルを磨いていく。また、知らないことや疑問に思ったことはその場で声を上げ、みんなで共有し、統一した支援を目指す。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他のこどもと活動する機会についての実施方法。	利用されているお子様の実態や保護者様のニーズ、安全性を考慮し、事業所内の友達同士のかかわりを優先しているため、地域の他の子どもとの活動はもてなかった。	今後、機会があればグループ毎に計画したいと思います。
2	保護者会についての実施。	事業所内のイベント等で保護者様にボランティアとして参加いただき、保護者同士が話をする機会を作り、交流を深めています。	保護者様同士が交流できるような機会について検討を行っていきます。
3			